

処女 (おとめ) マリアより生まれ

2022年12月11日

マタイの福音書 1章 ヨセフの側からの降誕の記述
ルカの福音書 1章 マリア "

序：バプテスマのヨハネの奇跡的誕生 = 年老いた人間の父と母から
イエス・キリストの唯一無比の誕生 = 神を父、処女 (人間) を母として
" 二性一人格

↓
神性 (罪がない 目に見えない、無限) 100パーセント
人性 (体を持つ、目に見える、有限) 100パーセント

偶像の神々 = 神の造られたものを神とした
= 人間の造ったもの " 被造物が創造主に成り上がる

真の神 = 人間 (とその他のすべてのもの) を創造した

イエス・キリストは、神が人となって来られた
創造主が被造物に成り下がった
無限の神・有限な人間
神としての栄光を控え、人が経験するすべてを経験

I. 聖霊が処女マリアの上に臨んだ

婚約中の男女はユダヤの法的には夫婦、1年位の婚約期間を経て結婚生活
まだ、ヨセフと一緒にいない時の懐妊
いと高き方の力がマリアをおおった (聖霊による)
生まれる子は男の子 (神の子、聖なる者、すぐれた者)
名をイエスとつけよ ヨシュア = 救ってくださる方

II. 父祖ダビデの王位を与えられる

養父ヨセフの父祖は遡って、ダビデに至る マタイ 1章1~16節の系図
ソロモン

ヨセフの父 = ヤコブ

母マリアの父祖も遡って、ダビデに至る ルカ 3章23~38節
ナタン

ヨセフの父 = ヘリ
" 義父 = マリアの父

イエスはユダ王家、ダビデの子孫の一人

ダビデは一時的な神の民イスラエルの王 (40年間)
血筋

キリストは永遠に神の民を治める王
信仰

Ⅲ. 御使いガブリエル

マリアに現れた ルカ 1・26
ヨセフ マタイ 1・20
(ザカリヤ ルカ 1・19)

神のみこころの告知

神の奇しいご計画の中で、どのような立場にあるか
彼らの役割、召命

マリア=メシアの母
ヨセフ=イエスの法的父

Ⅳ. それぞれの困惑・疑い・苦悩

婚約者以外の男性と性的関係 合意の上（当事者は二人とも石打ち）
強姦（男だけが死刑）
処女でなくなった女性との結婚禁止

ヨセフの決断

ユダヤの規定に従う

ただしマリアへのあわれみ ⇒ 法廷で晒し者にはしない
証人二人の前で離縁状を渡し、内密に去らせる

Ⅴ. 神の介入による解決

夢に現れた主の使い

ダビデの子孫（系図上正当）ヨセフ

規定に違反すること、人を恐れるな マリアを妻として迎えよ

胎内の子は聖霊による／男の子が生まれる

ご自分の民を罪から救ってくださる方 = 待ち望んだメシア

旧約イザヤの預言の成就

Ⅵ. 結び

信仰によって応答

マリア —— エリサベツ （互いに励まし合う・主を中心に交わる）

ヨセフ

御使いのことば（神の命令）に聞き従う

イエスの誕生後に実際に結婚、その後は二人の間に子どもたちが誕生